

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成19年度病害虫発生予察情報について

このことについて、発生予察注意報第1号（イチゴの炭疽病）を発表したので送付します。

病害虫発生予察 注意報第1号

1 農作物名 イチゴ（親株）

2 病害虫名 炭疽病

3 予報内容

（1）発生地域 県本土

（2）発生量 多

4 注意報発令の根拠

（1）昨年の巡回調査における育苗ほでの調査で発生ほ場率が88%，栽培初期の本ほで79%（平年29%）と多くのほ場で発生が確認され、25%以上の株が萎凋・枯死するなど発生程度の高いほ場もみられた。このため、潜在感染している親株が多いと推測される。

（2）炭疽病菌は高温多湿条件で病斑上に多量の胞子を形成し、雨水等で飛散する。向こう1か月の天候は、数日の周期で変わり、気温、降水量ともに平年並と予報されていることから、親株から子苗への伝染が懸念される。

表 炭疽病の発生状況

| 地域名 | 育苗ほ (H18.8月調査) | 本ほ (H18.10~11月調査) | 左記調査場所 |
|-----|-------------------|----------------------|--------------|
| 鹿児島 | - | - | |
| 指宿 | | - | |
| 日置 | (6/6) | (5/5) | 日置市伊集院町中川 |
| 川薩 | (5/7) | (3/5) | さつま町鶴田・湯田・平川 |
| 出水 | | - | |
| 始良 | | | |
| 曾於 | (4/4) | (3/4) | 志布志市有明町野神 |
| 計 | (15/17, 88%) | (11/14, 79%) | |

注1) : 発生確認, -未確認(普及センターからの聞き取り含む)。

注2) (): 発生ほ場数/調査ほ場数, 発生ほ場率。

5 防除上注意すべき事項

- （1）雨よけ、排水対策、防風対策を徹底する。
- （2）ビニールマルチ等により、降雨時等の土のはね返り防止を行う。
- （3）生育不良な親株は早急に除去する。
- （4）降雨中の摘花、古葉、枯葉等の除去作業は行わない。
- （5）予防散布を10~14日間隔で行う。発生が認められる場合は薬剤の散布間隔を短縮する。
- （6）最初に発生したランナーは二次親株への利用以外は早急に除去する。
- （7）育苗に使用する培土は必ず消毒する。